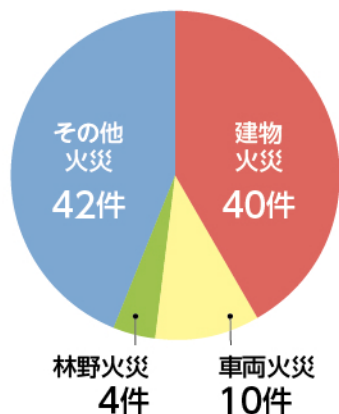


尾三消防本部管内の火災状況

2024年中に尾三消防本部管内で発生した建物火災40件のうち、住宅火災は約6割(22件)を占めており、死傷者は11人となりました。住宅用火災警報器・住宅用消火器を設置することで、早期避難はもちろんのこと、火災の初期段階で通報や初期消火ができ、被害を軽減することができます。

🔥 火災種別



※その他火災とは、田畑、空地、ごみ集積場、電柱などの火災です。



🔥 火災消火実験



※エアゾール式の消火具は消火器と比べて使用期限は短いですが、軽くて使用方法も簡単です。

住宅用消火器設置状況

2024年中、住宅における火災で消火器を使用した件数は1件でした。火災による被害を軽減するためにも、自宅に消火器を設置しましょう。また、エアゾール式簡易消火具は、一般家庭でも使用しやすい消火器で、火元を狙いやすく、高齢者や女性でも簡単に扱うことができますが、種類によって適応する火災が異なるため、適応火災および使用期限を確認することが大切です。

初期消火とは

出火の初期段階に行う消火活動を初期消火といい、消火器が最も効果的です。火災の初期とは、一般的に火が天井に到達するまでの間を言い、一般的な家庭では、室内の状況にもよりますが、2分程度で火が天井に到達すると言われています。

2024年度尾三消防組合一般会計決算



2024年度は、歳入総額45億8,034万5,749円に対し、歳出総額43億6,826万2,121円で、歳出予算の執行率は85.5%となりました。「安全で安心な暮らしを実感できる地域の実現」に向け、消防広域化のスケールメリットを最大限に活かし、盤石な消防組織を目指していきます。